

大阪有機化学工業

大阪有機化学工業は、化粧品原料の用途開拓を加速する。高いシェアを握るヘアケア分野だけでなく、モノマーから設計した多様な機能を持つポリマーを化粧品や医療分野に展開している。

カチオン系ポリマー「コスカットGA468」は、酸性から弱酸性の幅広い領域で増粘効果を発揮する。一般的なカルボマーがpH7~10で増粘するのに比べ、コスカットはpH3~7で増粘し、低刺激性のスキンケア製品へも応用が可能。優れたチキソ性により塗布後の伸びも良好。

化粧品原料ではカチオン、ベタイン、アニオン、ノニオンのポリマーを揃え、ジェルやワックス、ムース、スプレー、シャンプー、リンスなどのヘアケア製品に展開している。今後

は新規分野の開拓にも力を注ぐ。

カルボキシベタイン系ポリマー「PIMEB」は、

ヒアルロン酸と同等の保湿性、生体適合性を武器に超音波エコー用のジェルなど、医療用途にも展開する。医薬部外品原料規格も既存で登録されている。

低臭気で品質安定性に優れる高カチオン系ポリマー「H・C・ポリマー 11」は、高滑り性の視点でも訴求する。湿気やドライヤー熱でキューティクルが剥がれた毛髪を補修するほか、滑り性の付与により毛髪の摩擦係数を一般的なポリクオタニウム7に比べ低減、クシ通りを滑らかにする。このためアウトバス製品な

どで需要が見込める。同社では長期経営計画で2024年度に海外売上高比率30%の目標を掲げている。化粧品原料は機能化学品事業の主力製品であり、今後は低臭気性など日本と嗜好が似ているアジアで拡販する。

高カチオン系ポリマー 拡販